

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○						○	○	○			

企業の概要

企業・団体名	株式会社GOWiDE	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	5人
事業概要	テレワーク、リモートワーク向けソフトウェア開発 及び コンサルティング業務 テレワーク専門メディア「シゴトバ」の運用		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	運用ルールやマニュアルを作成
テレワーク担当部署	
テレワーク対象者	全社員
実施者数	5人
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

テレワークの導入・拡大の経緯

「すべての人にテレワークという選択肢を。」という企業理念のもとに、テレワークを推進する企業として率先してテレワークを体験して、その経験を利用してテレワークの普及に貢献するべく、2018年の創業時よりテレワークを導入している。全社員が毎日在宅勤務を中心にテレワークを行っており、子育てと業務の両立やワークライフバランスがとりやすい柔軟な働き方ができる環境をつくりあげている。

テレワークの概要・特徴

- 全社員が原則、毎日在宅勤務を行い、都合によりシェアオフィスを利用することもある。出社は必要に応じて可能だが、必要なケースは稀。
- 積極的にさまざまなICTツールを試行して、業務に最適なものを選択した。試したツールとして、チャットツールでは、ChatworkやSlackなど3種。会話のためのツールとしてZoom、Remottyなど7種を試用した。ブレインストーミングする際のポストイットの代わりになるツールとして、Limnu、Jamboard、MURAL等を試してテレワークでの議論を行った。記入したポストイットをスマホのカメラで撮って共有ファイルに張り付ける、年長者でも扱いやすいアナログとデジタルを組み合わせる試みもしている。ICTツールを最大限に活用しテレワークを効率的に行う工夫を続けている。
- リモート飲み会なども開催して、離れていても、意思疎通がしやすい環境をつくっている。
- 培ったテレワークの経験や知識を公開して共有できるようにテレワーク専門のメディア「シゴトバ」(<https://shigoto-ba.com/>)を運用しテレワークの普及に貢献している。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 原則全員毎日がテレワークであるため、全員分のオフィスを用意する必要がないためオフィス費用削減には効果があった。
- 在宅勤務において仕事と子育ての切り替えが簡単にできるので、仕事と子育ての両立にとても貢献している。
- チャットツールの頻繁利用やWeb会議の活用により、遠隔地で働く従業員も問題なく働くことができています。
- ワークライフバランスがとりやすい柔軟な働き方が可能であるため、仕事に集中しやすく、生産性が向上した。
- 通勤が不要なので、通勤混雑の緩和に貢献している。